



オープンタイプ回転式
パルプ濃度計

ジェイ・ウェル株式会社

今では家庭紙や段ボール原紙の製紙工場でも多くのパルプ濃度計が見られ、パルプの自動濃調が行われていますが、1980年代の初頭ではまだめずらしく、多くの場合は人の勤に頼っていました。

この時代のパルプ濃度計はエア式のブレード型が多く、今の電子式と異なり流速の影響をまともに受けやすく、家庭紙や段ボール原紙工場の小配管では使い勝手が悪く、また、高価なために主に大手の製紙工場で使われていました。

但し、パルプの自動濃調は品質を安定させる上で年々重要となり、この時代の要請に沿い佐竹計器はオープン型(種箱式)の回転式濃度計を1984年に開発しました。

以来、約200台が自動濃調システムとして全国の製紙工場に導入されご利用頂いております。

測定原理)

・パルプ接液部の回転羽根にはパルプ濃度に応じた剪断力が発生し、その剪断力に応じて回転軸が偏心します。その偏心力をロードセルで捉えパルプ濃度に換算します。

特徴)

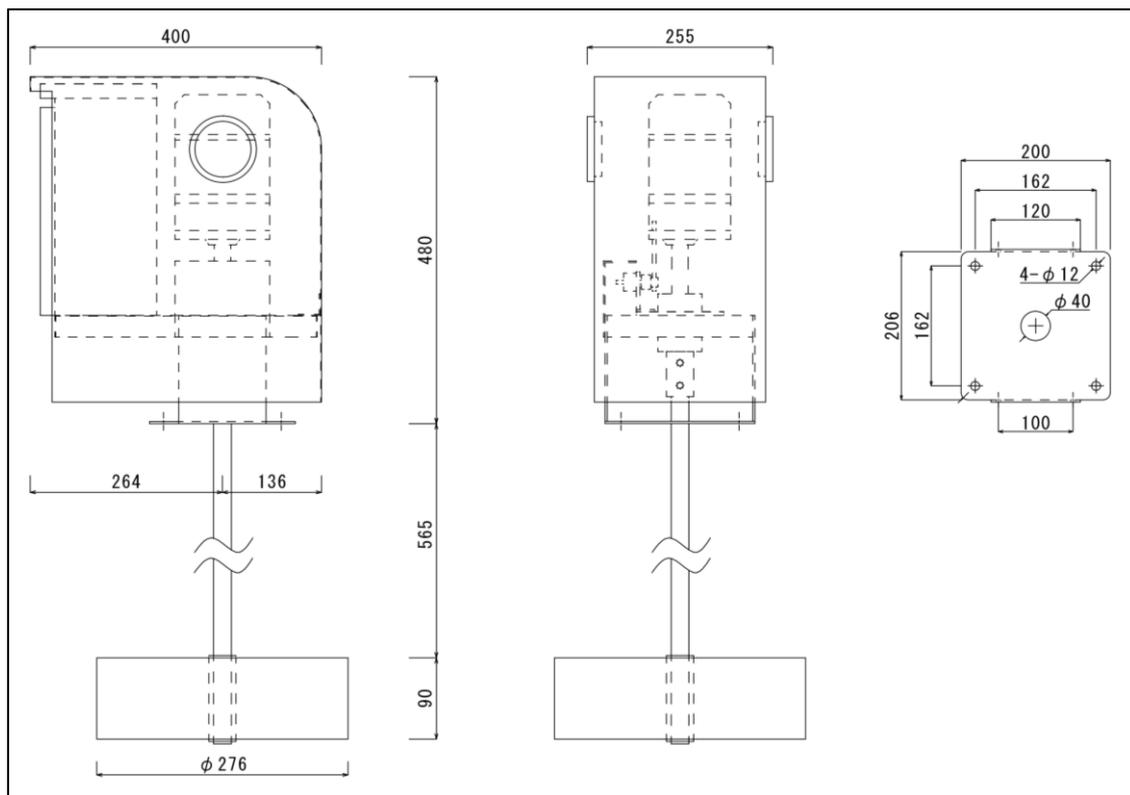
- ・剪断力を高精度で捉えることが出来る回転羽根の形状。
- ・幅広い測定範囲。
- ・構造がシンプルでメンテナンス性に優れている。
- ・標準部品で構成されている。

主要構成)

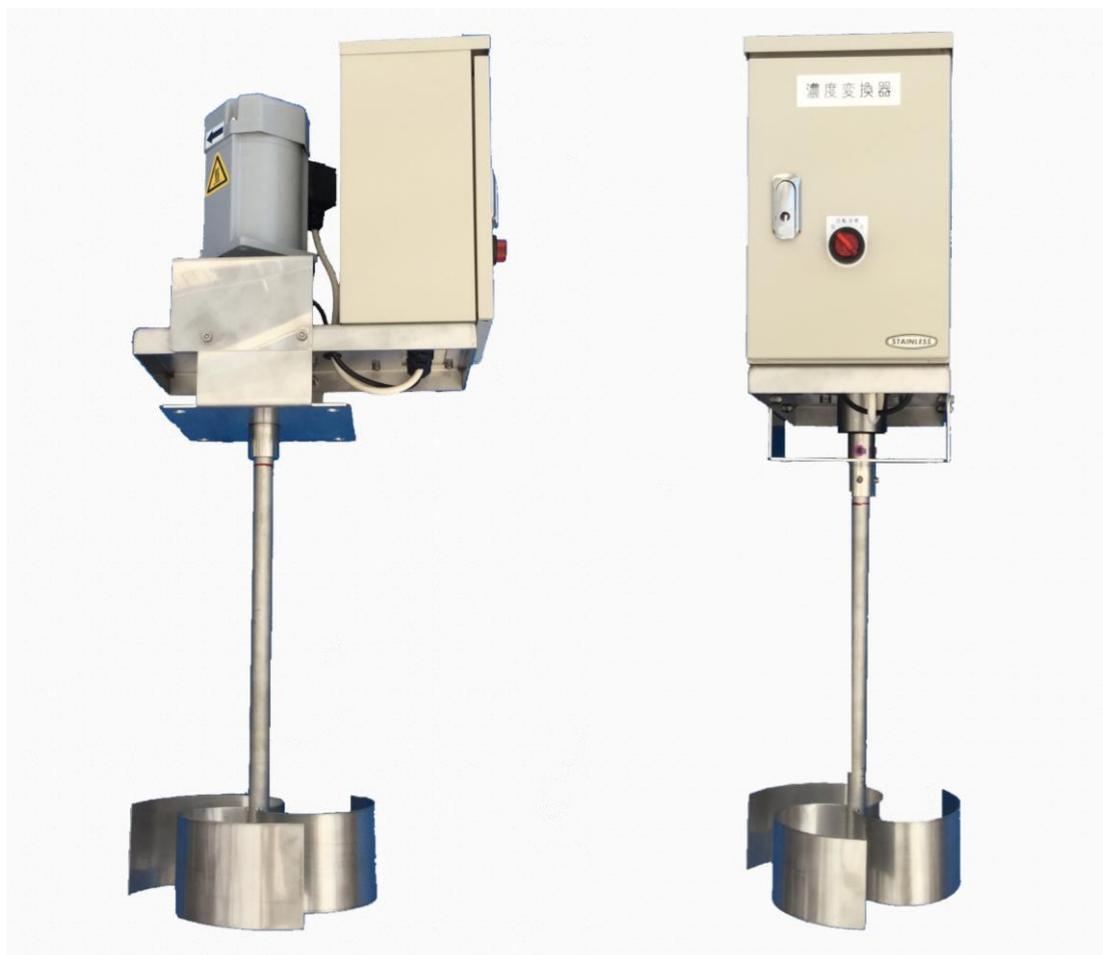
回転羽根、モーター(減速機一体型)、ロードセル、変換器

仕様	
濃度検出器 SPD2100A	
測定対象	各種パルプ原料
測定方式	直接またはサンプリング式 オーバーフロー測定槽使用
濃度測定範囲	1.5~5.0%(パルプの種類にもよります。)
測定原理	一定回転羽根の濃度によるトルク変化をロードセルで検出。
モーター	AC100V 単相 インダクションモータ 減速機一体型
濃度センサー	ロードセル、変換器
濃度出力信号	4~20mADC
材質	BOX:SUS304(塗装仕上げ)、本体・回転羽根:SUS304
運転スイッチ	回転羽の運転/停止の操作
BOX寸法	H:430、W:300、D:160

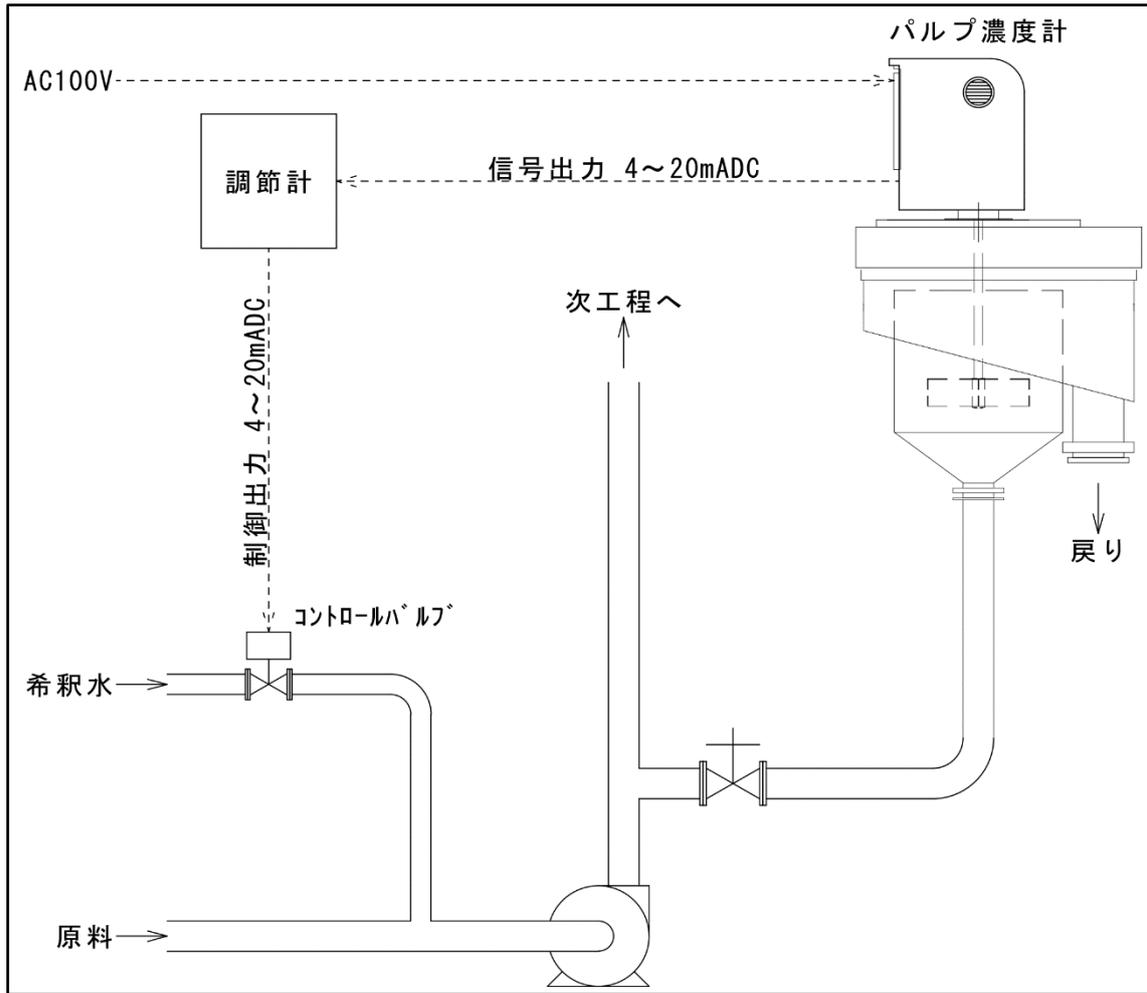
外形寸法図



製品写真(本体、防滴カバー)



事例：パルプ濃度計システム構成図



ジェイ・ウェル株式会社

本社 〒422-8034 静岡県静岡市駿河区高松1-17-15

TEL 054-236-0817 FAX 054-236-0818

<http://www.jp-jwell.com>

※佐竹計器株式会社は、2018年12月31日よりジェイ・ウェル株式会社に社名変更致しました。